

玉藻 第三十九号 目次

第39号

玉藻

『漾虚集』における漱石のアイロニー……………	佐藤裕子……………	1
——「余」の物語をめぐって——		
藤原良経の『千五百番歌合』雑十首を読む……………	高橋知子……………	29
紫式部日記——庭と空へのまなざし——……………		
スサノヲ論……………	小林綾子……………	35
〈手〉から見つめる源氏物語……………	黒澤智子……………	44
日本と「月」——日中比較文化論——……………	水野久子……………	52
芥川龍之介「西方の人」論……………	茂木美保……………	64
——「イエス」ではなく「ヘクリスト」とした意味——		
川端康成『山の音』論……………	種岡尚子……………	75
——信吾と菊子の関係性をめぐって——		
二〇〇二年度 博士論文・修士論文・卒業論文題目……………		88
彙報……………		96
会則……………		97
「生」と「死」をめぐって……………	金子理恵……………	50
——死ぬことは生きること?——		
方言談話における計量国語学的類型論……………	荒則子……………	36
——四国・九州・沖縄地方——		
「湘南べ(え)」——「関東べい」の一変容——……………	佐藤愛可……………	23
韓国で使用される日本語の業種別語彙とその出自国認識……………	姜小晶……………	14
岩手県盛岡市方言の動詞否定・使役・受身形における母音無声化……………	齋藤孝滋……………	左 1
規則・語中子音有声化規則の音声文法的考察……………		

玉 藻 第三十九号

二〇〇三(平成一五)年十一月 五日 印刷
二〇〇三(平成一五)年十一月 七日 発行

編集兼 フェリス女学院大学国文学会

発行人 代表者 森 朝 男

印刷所 メディア・バック

〒178-0061 東京都練馬区大泉学園町

六―一三―二〇

電話 (〇三) 五九四七―九一三五

発行所 フェリス女学院大学国文学会

〒245-8650 横浜市泉区緑園

四―五―三